

# 日本史籍講読7-Ⅳ

科目ナンバリング JPH-414  
選択必修 2単位

小山 俊樹

## 1. 授業の概要(ねらい)

大正・昭和期に議会政治家として活躍し、いわゆる「肅軍演説」「反軍演説」で知られた斎藤隆夫。陸軍の圧迫のなかで議員除名された斎藤は、戦時下の翼賛選挙で非推薦当選を果たし、戦後に復活した政党政治の担い手となってゆく。

本授業では、長い間その存在が知られながら、2009年になって初めて全面公開された斎藤の「日記」を題材に、参加者全員で輪読・報告する。同時代の政治家の眼を通して、戦前・戦後日本の政治や社会について理解を深めるとともに、近現代史料の読解や調査の方法を学んでいく。

## 2. 授業の到達目標

- ①近現代日本の政治家が書いた「日記」を活字で読み、その文意を理解すること。
- ②「日記」に書かれた登場人物・事件・事項などを調査する能力を身につけること。
- ③他の史料などをもとに、「日記」の記述を検証できるようになること。

## 3. 成績評価の方法および基準

毎回の授業での報告を重視する。  
また最終回にテストを行い、総合的に評価を行う。

## 4. 教科書・参考文献

参考文献

斎藤隆夫 回顧七十年 中公文庫

## 5. 準備学修の内容

参考文献や資料を読み込み、担当範囲の政治や社会の動きを理解すること。  
その上で、配布されたテキストの記述事項を幅広く調査し、その結果を報告に盛り込むこと。

## 6. その他履修上の注意事項

授業への出席、および報告・質疑の内容を重視する。報告者はもちろん、その他の受講者も事前に予習を行い、質疑応答に参加することが求められる。

## 7. 授業内容

- |        |                          |
|--------|--------------------------|
| 【第1回】  | ガイダンス・史料の概略と授業の進め方について   |
| 【第2回】  | 昭和十四(1939)年(1)           |
| 【第3回】  | 昭和十四(1939)年(2)           |
| 【第4回】  | 昭和十五(1940)年(1)           |
| 【第5回】  | 昭和十五(1940)年(2)           |
| 【第6回】  | 昭和十六(1941)年(1)           |
| 【第7回】  | 昭和十六(1941)年(2)           |
| 【第8回】  | 昭和十七(1942)年(1)           |
| 【第9回】  | 昭和二十(1945)年(1)(LMS上にて実施) |
| 【第10回】 | 昭和二十(1945)年(2)           |
| 【第11回】 | 昭和二十一(1946)年(1)          |
| 【第12回】 | 昭和二十一(1946)年(2)          |
| 【第13回】 | 昭和二十三(1948)年(1)          |
| 【第14回】 | 昭和二十三(1948)年(2)          |
| 【第15回】 | 昭和二十四(1949)年／試験実施        |